

年年歳歳2013京都青年団体会議

幕末“志”列伝

～あなただからできること あなたにしかできないこと 気づいていますか？～

2月24日 於 グランドプリンスホテル京都

株式会社高畑工作所 高畑 國正

第13回を数える年年歳歳京都青年団体会議。今回は機青連が2回目の実行委員長輩出団体となり、機青連からは13名が出向し、総勢38名の実行委員会で運営いたしました。

参加登録者数は355名。そのうち機青連からは48名というたいへん多くの会員様にご登録いただきました。

第1部『幕末“志”列伝』は、坂本龍馬、勝海舟、吉田松陰を主に取り上げて、それぞれから行動力、リーダーシップ、教育について学ぼうという企画でした。第1講演では霊山歴史館 学芸課長 木村幸比古氏を講師に迎え、それぞれの人物があつた時代にどう志を持って行動してきたのかという観点でご講演いただきました。

第1講演のあとは展示ブース見学。特注段ボールで製作したパーテーションでブースを設営。実行委員が今回取り上げた人物について調べ上げて作成した大量の資料、霊山歴史館や高知県立坂本龍馬記念館などからお借りしてきたパネルや龍馬の手紙のレプリカなどを展示しました。中でもそれぞれのご子孫の方からのメッセージビデオや、まだ一般に公開されたことのない勝海舟直筆の掛け軸の実物の展示は圧巻でした。

木村先生の第2講演では、我々が彼らから何を学び、現代にどう活かすのかという観点でお話いただきました。それを受けて7～8名でのグループディスカッションを行いました。ここでは『私達にとって志とは〇〇である。』の〇〇を20文字で表現するという課題に取り組みました。木村先生の講演や、実際に見学した史料などから今の自分達に立場を置き換えて感じたことなどを真剣に話し合いながら各々課題を完成させました。

第2部『大懇親会』からは京都府知事 山田啓二様、京都市長 門川大作様にご臨席賜り、ご祝辞を頂戴することができました。式典の第1部の発表では参加者から1名が選ばれ、感想を述べていただきました。

乾杯は副実行委員長を務めた協和精工(株) 山下正起氏が発声しました。歓談のあとはゲームや和太鼓演奏のアトラクションで楽しんでいただきました。和太鼓演奏ではプロに混じって、私を含む実行委員3名も一緒に演奏させていただきました。

次の実行委員長輩出団体が京都府建築士会青年部会に決まりました。引継ぎ式では機青連代表幹事 恩田健帥氏から建築士会部長 江坂幸典氏に団体会議旗が手渡され、そして閉会を迎えました。

ご参加くださいました皆様からはこの事業がどのように映りましたでしょうか。

私は実行委員長を務めさせていただき、思いを表現することの難しさ、大勢を組織することの難しさ、皆で創り上げることの大切さ、またおもしろさをこの大舞台で勉強させていただくことができました。実行委員会が一丸となってぎりぎりまで登りつめることができた事業だったのではないかと感じております。私達の思いが少しでもご参加くださいました皆様にお伝えすることができましたなら幸いに存じます。



《機青連出向者 一言感想》

㈱坂製作所 坂栄孝氏

このたび、青年団体会議で大変貴重な体験をさせて頂き、いろんな角度からの勉強になり大変感謝しております。先輩方が言われる、やってみなければわからない。まさにその通りです。なのでどうよかったのか教えません。体験・経験してみてください。

澤田製作所 澤田浩氏

今回広報班として、各団体へのPR活動や、各班の活動、本番を写真に撮らせて頂きました。この活動を通じて、新しい仲間の輪が広がりました。そして、同じ「志」を持った仲間と事業を作り上げていく楽しさをあじわわせて頂きました。

また、会員の皆様に喜んで頂ける事業を作り上げるという信念を持って活動してきました。この思いが来年にも引き継がれていくと信じています。よい経験をさせて頂きました。ありがとうございました。

㈲QUALIS・クオリス 篠崎有紀氏

団体会議に初出向させて頂きました。色々大変なこともありましたが、一緒に頑張っておられる方々に恵まれ、終わってみると、あっという間だったように思います。今回の実行委員会に参加したことで、気づき勉強させていただいたことも多く、これがきっかけで知り合えた多くの方々に感謝しています。

㈲大和塗装 辻本学氏

2013京都青年団体会議に出向させていただき貴重な体験、新たな出会いの場をもちましてありがとうございました。微力ながら協力させていただきいろんな面で勉強できたと思います。



橋本鉄工㈱ 橋本展幸氏

私自身、団体会議の参加自体が初めてでしたのでどのような会かも分からない中での出向でした。初めころは他団体の方とあまり関わりを持っていませんでしたが、準備をしている中で他団体の集まりならではの考え方や得意分野の違いをお互いに理解して一体感が生まれ、よい形で当日を迎えられたと思っております。

異業種の方が多いので時間の調整など大変な事もありましたが、とてもよい経験をさせて頂きました。

㈲八川製作所 八川晃大氏

私は2010以来の出向でした。幹事を離れて2年。こうやって大きな事業に携わった事が懐かしくもあり、新鮮でした。さまざまな業種の方々が「京都」というキーワードで一つになり、その多くの方々と繋がりをもてた事、これが前回と変わらず私に残った大きな財産です。

最後にこの度お世話になった皆さんに御礼申し上げます。ありがとうございました。

㈱林製作所 林克己氏

この度は、年年歳歳2013京都青年団体会議に出向させて頂き、大変有難うございました。機青連の活動だけでは経験することができない、他団体の皆様と、一つの事業を創り上げていくという大変貴重な経験をさせて頂き、人生の中で忘れることのできないことの一つとなりました。本当に有難うございました。

㈱ヤスダモデル 安田一真氏

年年歳歳 2013 京都青年団体会議「幕末 志 列伝」を開催しました！約半年の準備期間を経て約 400 名の

青年経営者が集い京都の為に出来る事は何か？志を持っているのか？京都府知事、市長も招き、会はスタートしました。

この会の運営を通じて繋がりが増えて色々な知識を頂きました。そして自分のリミットをまだまだ先にあることを確信しました。前もってリミットの線引きは出来るけど知らない自分は沢山あります。製造業としてのもの作りへのプライドは自分の誇りに感じたし、何が一番大事か？より自分に何が出来るのか？を考えた方がよっぽど人生楽しめるかと確信しました。

会の運営に参加させて頂けた事を非常に嬉しく思います。残念ながら私は途中退席し、その足で名古屋に夜間施工に向かいましたが、忙しさの中でより仲間との連携プレーがとれたのではないかと感じる事が出来ました。出向させて頂きありがとうございました！！

協和精工(株) 山下正起氏

この度の団体会議では、まずは当日も含めてたくさんの機青連会員様のお力をお貸しいただけた事に感謝しています。参加者数も総会に次ぐような規模でご参加いただけて何よりのやりがいになりました。自分自身の中では、途中からではありますが副実行委員長という大役を受けて、毎日が不安や葛藤との戦いでしたが、当日を何とか大きなトラブルもなく終えられた事が、大きな自信になりこれからの事業運営においてプラスになるだろうと思っています。

高畑実行委員長はじめ、実行委員の皆様には、頼りない自分をあきらめることなく使ってくださいました事に、重ねて感謝いたします。本当にありがとうございました。

山本精工(株) 山本秀幸氏

団体会議に出向させてもらい、自分にとってすごく変革のある8ヵ月間でした。無事故で大成功を納める事が出来、振り返ってみると「もっと頑張れたなあ」とか色々ありますが、とにかく皆で楽しく作り上げて行く事が出来て、最高の8ヵ月間でした。ありがとうございました。

(株)楽墨堂 山本勇輝氏

今回、2013 京都青年団体会議へ出向させて頂きました。私個人としては2度目の出向でしたが、なかなか出席する事が出来ず、多分に御迷惑をお掛けしてしまったことかと思います。

今回参加させて頂く中で、感じた事として、テーマでもある、「志」に基づいて現在の私の置かれている状況と照らし合わせながら考えてみました。今、海外での拠点展開事業を進めている中であって、すべての事が新しい事前例のないものの中で手探りで進めている状況です。しかしながら、今回の団体会議に参加させて頂く中で、いつも自身の指針となっているものは、過去から脈々と受け継がれてきた考え方であり、それを「志」と呼ぶのではないかと感じました。過去、現在、未来とどんなものでも革新的に変化を遂げて行くのですが、その中でも普遍的なスピリットがあり、それは常に自分の中での羅針盤として導いてくれるものだと感じました。

また、京都青年団体会議は、私達製造業に携わる者にとって、他業種の経営者の方と交流するための滅多に無い機会だと思います。アジア、欧米等グローバル展開が盛んに推進される私達の業界において、再度、京都のネットワークの強さを認識することが出来ました。おそらく、人それぞれ考え方は違うとは思いますが、今回の団体会議を通じ、改めて、企業家の一人としての「志」の持ち方を見つめ直すきっかけとなりました。ありがとうございました。

(株)大栄製作所 吉岡恵氏

準備から約8ヶ月・・・ひとつの事をやり遂げるところに正に「志」があるのではないのでしょうか。「志」を幕末から学び、今回の 2013 を終え「生き方」について考えさせられた、そんな気がします。

本番では、皆さんの支え役としてさせて頂きました。ひとつの事に力を合わせやり遂げることの苦勞と喜び、他では味わえない感動でした。2014、2015・・・と続いていくことをお祈りしつつ感想とさせて頂きます。

ありがとうございました。そして皆さんお疲れ様でした！

